

教員向け自己評価結果報告・分析

学校評価の一環として本校では教員向けの自己評価のアンケートを行いました。それぞれの質問について

5＝大いに当てはまる、4＝ほぼ当てはまる、3＝どちらかといえば当てはまる

2＝やや違う、1＝大いに違う

の5段階で各教員が回答しました。以下が、その結果(平均点)と分析です。関係の皆様には本校を評価いただく際の参考資料として頂ければと思います。

質問 番号	質問内容	平均点	前年度 平均点	順位	前年度 順位
1	礼儀・身だしなみの徹底のため、服装指導・登下校指導等に積極的に取り組んでいますか。	4.7	4.8	1	1
2	清掃指導を徹底し、担当場所の環境美化と生徒の心の成長に努めていますか。	4.7	4.5	1	5
3	生徒の変化を察し、相談にのる等、問題行動の防止に取り組んでいますか。	4.7	4.7	4	3
4	「いじめ防止対策基本方針」を熟知し、人権に配慮した指導をしていますか。	4.7	4.7	4	2
5	教育技術・知識の獲得のため、進んで研修に参加する等、自己研鑽に努めていますか。	4.3	4.4	11	9
6	校務(分掌)処理に遅滞なく正確に取り組んでいますか。	4.4	4.5	9	6
7	生徒の基礎的・基本的な知識および技能習得のため、わかる授業を展開していますか。	4.4	4.4	8	9
8	「聴く・説く・挑む」の目指す生徒像の3つの観点を意識して、授業改革に取り組んでいますか。	4.4		9	
9	地域の方々への要望・意見に耳を傾ける等、地域連携の充実を目指していますか。	4.5	4.3	7	10
10	進路相談等を通じて生徒理解に努め、生徒の進路実現を支援していますか。	4.7	4.7	1	3
11	保護者の方々と連絡を密にする等、連携することにより、信頼関係の構築に努めていますか。	4.6	4.4	6	7

※平均点は小数点第1位未満を四捨五入していますので同じ点数でも順位が異なる場合があります

分 析

昨年度引き続き、全体的に高評価となりました。各教員が各自の業務に対して高い評価を下すことができていたということは、教員それぞれが能動的な姿勢で各業務に当たっていることのあらわれだと思います。特に「1. 服装指導・登下校指導」「2. 清掃指導」「10. 進路指導」といった生徒指導・生活指導に対する項目が一番評価が高かったということは、先生方が普段から生徒に深い教育的愛情を持ち、生徒と向き合っていることだと感じます。またコロナ禍で、なかなか学校から出ることができない中「9. 地域連携」や「11. 保護者との信頼関係の構築」でも昨年度より評価が上昇していることも特徴的です。毎月発行している学校だよりを通じて学校の様子を地域の方々に広報したり、生徒会活動でマスクを寄付したり、家庭と連絡を密にし生徒の様子を確認したりと、今だからこそできることをしっかりとやってきた結果だと思います。

順位の低いものに着目してみると、「5. 研修・自己研鑽」、「6. 校務分掌」が低くなってしまっている点は残念です。今年度は感染症対策のため、研修の機会が減っていることや、オンライン研修といった新たな様式にまだ不慣れな点であること、業務の多忙化により研修の時間が取れていないことが考えられます。また教員数の削減により一人あたりの仕事量が増えていることで校務の処理に時間がかかってしまっていることも原因と考えられます。昨年度から進めております「働き方改革」の観点から、業務の見直し・効率化をよりいっそう図り、先生方の負担を減らしていきたいと考えております。

さらに「8. 目指す生徒像、授業改革」の項目は今年度から新設した項目です。昨年度から進めています授業改革では魅力あふれる授業を展開するため、先生方が日々試行錯誤しております。今後とも生徒の学校生活を第一に、教育的愛情と使命を持って本校の生徒の育成に取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今後ともご指導・ご協力のほどよろしくお願いいたします。